

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月2日 (2015.4.2)

【公開番号】特開2014-121404(P2014-121404A)

【公開日】平成26年7月3日 (2014.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-035

【出願番号】特願2012-278468(P2012-278468)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月13日 (2015.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 特別図柄を変動させて行う第 1 図柄変動ゲーム又は第 2 特別図柄を変動させて行う第 2 図柄変動ゲームが当たりとなるか否かを判定する当たり判定手段を備え、前記第 1 図柄変動ゲーム又は前記第 2 図柄変動ゲームにおいて予め定めた当たり表示結果が導出されたことを条件として、遊技者に有利となる当たり遊技が生起される遊技機において、

遊技球の入球によって前記第 1 図柄変動ゲームの始動条件が得られる第 1 入球口と、

遊技球の入球によって前記第 2 図柄変動ゲームの始動条件が得られる第 2 入球口と、

前記第 2 入球口が開放状態と閉鎖状態を取り得るように動作する開閉手段と、

普通始動条件の成立により、普通図柄を変動させて行う普通図柄変動ゲームが普通当たりとなるか否かを判定する普通当たり判定手段と、

前記普通当たり判定手段の判定結果が肯定である場合、普通当たりを決定する普通当たり決定手段と、

前記普通当たりが決定された場合に、前記第 2 入球口が開放状態と閉鎖状態を取り得るように前記開閉手段を動作可能に制御する開閉制御手段と、

遊技球が入球可能な特殊入球口と、

前記当たり表示結果として特定の当たり表示結果が導出されたことを条件として前記特殊入球口が開放状態と閉鎖状態を取り得るように動作する特殊開閉手段と、

前記特殊入球口から入球した遊技球が通過することによって当たり遊技を生起させることができる特殊通過領域と、を備え、

前記第 1 図柄変動ゲームよりも前記第 2 図柄変動ゲームのほうが前記特定の当たり表示結果が導出され易い遊技機。

【請求項 2】

複数種類の普通当たりを有し、

前記普通当たり決定手段は、前記普通当たり判定手段の判定結果が肯定である場合、前記普通当たりの種類を決定し、

前記開閉制御手段は、当たり遊技が生起されることなく、前記普通当たり種類決定手段によって決定された普通当たりの種類に基づいて、前記第 2 入球口に遊技球が入球し易い第 1 開放態様と、前記第 1 開放態様よりも前記第 2 入球口に遊技球が入球し難い第 2 開放態様とを含む複数種類の開放態様のうち何れかで前記開閉手段を動作可能に制御する請求項 1 に

記載の遊技機。

【請求項 3】

前記特定の当り表示結果が導出される当りを複数種類有し、

前記当りの種類に基づいて、前記特殊通過領域を遊技球が通過し易い第 1 特殊状態、又は前記特殊通過領域を遊技球が通過し難い第 2 特殊状態を取り得るように前記特殊開閉手段を動作させる制御を行う特殊開閉制御手段を備えた請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記特殊入球口から入球した遊技球が前記特殊通過領域を通過可能であるか否かを振り分ける特殊振分手段を有し、

前記特殊開閉制御手段は、前記特定の当り表示結果が表示された場合、前記第 1 特殊状態であるか前記第 2 特殊状態であるかに拘わらず、1 種類の振分パターンに従って前記特殊振分手段を作動させるとともに、前記第 1 特殊状態であるときには、前記特殊振分手段により前記特殊通過領域を遊技球が通過可能な第 2 特殊期間に前記特殊開閉手段を開放状態に制御する一方で、前記第 2 特殊状態であるときには、前記特殊振分手段により前記特殊通過領域を遊技球が通過困難な第 1 特殊期間に前記特殊開閉手段を開放状態に制御する請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記特殊開閉制御手段は、前記特殊振分手段による振分の切り替え前に、予め定められた時間だけ前記特殊開閉手段を閉鎖状態に制御する請求項 4 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記問題点を解決する遊技機は、第 1 特別図柄を変動させて行う第 1 図柄変動ゲーム又は第 2 特別図柄を変動させて行う第 2 図柄変動ゲームが当りとなるか否かを判定する当り判定手段を備え、前記第 1 図柄変動ゲーム又は前記第 2 図柄変動ゲームにおいて予め定めた当り表示結果が導出されたことを条件として、遊技者に有利となる当り遊技が生起される遊技機において、遊技球の入球によって前記第 1 図柄変動ゲームの始動条件が得られる第 1 入球口と、遊技球の入球によって前記第 2 図柄変動ゲームの始動条件が得られる第 2 入球口と、前記第 2 入球口が開放状態と閉鎖状態を取り得るように動作する開閉手段と、普通始動条件の成立により、普通図柄を変動させて行う普通図柄変動ゲームが普通当りとなるか否かを判定する普通当り判定手段と、前記普通当り判定手段の判定結果が肯定である場合、普通当りを決定する普通当り決定手段と、前記普通当りが決定された場合に、前記第 2 入球口が開放状態と閉鎖状態を取り得るように前記開閉手段を動作可能に制御する開閉制御手段と、遊技球が入球可能な特殊入球口と、前記当り表示結果として特定の当り表示結果が導出されたことを条件として前記特殊入球口が開放状態と閉鎖状態を取り得るように動作する特殊開閉手段と、前記特殊入球口から入球した遊技球が通過することによって当り遊技を生起させることができる特殊通過領域と、を備え、前記第 1 図柄変動ゲームよりも前記第 2 図柄変動ゲームのほうが前記特定の当り表示結果が導出され易いことを要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記遊技機について、複数種類の普通当りを有し、前記普通当り決定手段は、前記普通

当り判定手段の判定結果が肯定である場合、前記普通当りの種類を決定し、前記開閉制御手段は、当り遊技が生起されることなく、前記普通当り種類決定手段によって決定された普通当りの種類に基づいて、前記第2入球口に遊技球が入球し易い第1開放態様と、前記第1開放態様よりも前記第2入球口に遊技球が入球し難い第2開放態様とを含む複数種類の開放態様のうち何れかで前記開閉手段を動作可能に制御する構成としてもよい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記遊技機について、前記特定の当り表示結果が導出される当りを複数種類有し、前記当りの種類に基づいて、前記特殊通過領域を遊技球が通過し易い第1特殊状態、又は前記特殊通過領域を遊技球が通過し難い第2特殊状態を取り得るように前記特殊開閉手段を動作させる制御を行う特殊開閉制御手段を備える構成としてもよい。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記遊技機について、前記特殊入球口から入球した遊技球が前記特殊通過領域を通過可能であるか否かを振り分ける特殊振分手段を有し、前記特殊開閉制御手段は、前記特定の当り表示結果が表示された場合、前記第1特殊状態であるか前記第2特殊状態であるかに拘わらず、1種類の振分パターンに従って前記特殊振分手段を作動させるとともに、前記第1特殊状態であるときには、前記特殊振分手段により前記特殊通過領域を遊技球が通過可能な第2特殊期間に前記特殊開閉手段を開放状態に制御する一方で、前記第2特殊状態であるときには、前記特殊振分手段により前記特殊通過領域を遊技球が通過困難な第1特殊期間に前記特殊開閉手段を開放状態に制御する構成としてもよい。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0160

【補正方法】削除

【補正の内容】